

目指す学校像	<p>1 建学の精神 本学園は、日本国民としての常道に従い、人は生きて資本なりの理想に基づき、建学の精神を「人間是宝」と決めました。この精神は、生徒の将来を考え一人一人の内在する可能性をいかに開花させるかということにあります。この精神こそ、本学園建学の理念であり、本校教育の根源をなすものであります。この建学の精神「人間是宝」と校訓「今日学べ」の具現に努め、大学進学と部活動を両立する進学校を目指します。</p> <p>2 教育使命 若人の未来を考え、次のことを実践することを教育使命としています。 (1) 内在する可能性の開発 (4) 世界文化経済発展の先覚者としての自覚 (2) 創造する心と、知性の育成 (5) 平和世界に貢献する奉仕の心の育成 (3) 人間性豊かな徳操の涵養</p>		
学校教育目標	<p>1 けじめある心を育てる 2 自己開発の心を育てる 3 創意工夫の心を培う</p>	<p>4 敬愛と感謝を込めて生活できる心を育てる 5 健全な体と心をスポーツと文化で育てる</p>	

出席者	学校関係者	20名
	教職員	6名

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価		
年 度 の 目 標					年 度 評 価		
重点目標	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
学力の向上と進路指導の充実	<p>国公立大学の進学実績の向上を図る。 単なる進学校ではなく、学校行事や部活動に積極的に参加をさせながら、生徒が「主体的」に学び、すべてに全力を尽くせる学校づくりを目指す。そのために、学習指導・進路指導を充実させるとともに教員の指導力向上を急務の課題として、研究会への参加、他校の見学などを奨励し、情報の共有を図るようにしなければならない。</p>	<p>①国公立大学・難関私立大学の進学実績の向上 ②科別・コース別の進路指導実績の向上 ③進路指導の充実</p>	<p>●特別指導内容の充実(放課後演習・0時間授業・Classi・夏期講習・合宿学習・面接指導・小論文指導など) ●二者面談・三者面談の充実 ●進路指導センターの充実・活用 ●校外模試等の分析を更に充実し、教科指導に反映させる。</p>	<p>●国公立大学・難関大学合格者数増加 ●大学進学率の向上</p>	<p>●今年度の大学降格者数は、国公立大学68名、早慶上14名、GTMARCH101名、日東駒専161名、医歯薬・医療系大学85名、芸術系大学14名、体育系大学33名、総数1,158名であった。 ●年度目標値を達成し、昨年より大きく向上した。</p>	A	<p>●国公立大学・難関著名大学合格者数の具体的な目標値を設定し、授業内容の研究・改善及び本校ならではの進路指導を充実させる。更に研修会を開催して授業力向上に努める。 ●コースにより、2年次2月までの指導計画・指導方法の工夫改善をより一層進め、家庭学習を充実させ、2年次終了時点での基礎学力の向上・完成を目指す。 ●一律の学習課題ではなく、学力層ごとの課題を提示することでアダプティブラーニングを実施し、学力の向上を図る。</p>
入学定員の確保と改善	<p>学則定員は、普通科560名、保健体育科160名の720名であるが、今年度入学生は809名であった。今後も、より能力の高い生徒を確保することが課題である。</p>	<p>①志願者数の増大 ②能力の高い生徒の確保</p>	<p>●志願者の増加と質の向上を目指す ・学校説明会 年4回 ・入試相談会 年8回 ・部活動体験会の実施 ●入学定員の確保 ・入学試験の改善</p>	<p>●受験者数の増加と合格者の学力向上 ●入学定員の厳守</p>	<p>●学校説明会、入試相談会、部活動体験会等には、のべ8,507名が来校した。 ●志願者数は、2,260名であった。 ●入学予定者は809名で、定員を12.4%上回った。全体では10.2%オーバーとなっている。</p>	B	<p>●学校説明会、入試説明会、部活動体験会の回数・内容の工夫・改善を図り、効率を高める必要がある。 ●生徒数は、2,380名となり、10.2%オーバーとなった。今後とも、募集定員を遵守し、さらに生徒の質の向上に努めたい。 ●学校訪問を充実させ、本校の教育を理解してもらう。</p>
部活動の充実と改善	<p>29年度は全校生徒の86.7%が部活動に加入し、18部75名が全国優勝を果たしている。それを上回る成績を上げるとともに部活動加入率を向上させる。また、部活動と学業の充実を図るために放課後選択授業との連携が課題である。</p>	<p>①部活動加入率の向上 ②放課後選択授業との連携 ③部活動への支援体制の強化</p>	<p>●学期ごとに部員数調査を実施し、現状を把握することで全教職員で部活動を奨励する。 ●放課後選択授業との連携を深める。 ●施設設備の充実とその活用を図る。</p>	<p>●部員数調査の実施(各学期) ●放課後授業の内容の明確化 ●30以上の部活動が全国大会に出場し、20部以上が全国優勝する。</p>	<p>●全校の部活動加入率は86.0%となり、前年より0.7%の下降が見られた。 ●運動部・文化部合わせて全国大会に述べ91部(延べ1,003名)が会場、16部が全国優勝した。</p>	A	<p>●部活動加入率90%以上を目指す。 ●放課後選択授業との連携を強化し、学業と部活動が両立できることを周知する。 ●新校舎になり施設設備の充実とその活用方法が課題である。</p>

学校関係者評価	
実施日 令和元年5月27日	
学校関係者からのご意見・要望	評価
●具体的方策としての取り組みが充実し、それが大学進学率の向上として結果が出ている。 ●生徒個々の希望・適正に即した進路指導がなされている。 ●放課後演習に参加しやすい環境を整えており、部活動と学業との両立がしやすい。 ●小論文、面接指導が充実している。 ●生徒個々の希望・適正に即した進路指導の実施。 ●進路指導センターの活用について、生徒の中にはまだ十分に活用していない生徒も見られる。 ●主体的に学ぶ生徒とそうでない生徒との格差があるように見られる。 ●授業中集中していない生徒がいると聞いており、そのような生徒に対する指導をお願いしたい。	A A A A B B C
●学校説明会、個別相談会、部活動体験会などその内容、対応が行き届いている。文化祭も多くの中学生在が二日間公開して多くの中学生が観ることが出来ている。 ●建学の精神、教育使命とその実践を、生徒とその保護者に伝えられれば魅力ある学校として入学者が増えると思う。 ●部活動の活躍と大学合格の実績が高く評価され定員の確保につながっているのだと思われる。 ●中学生、保護者の方々に少しでも生徒の生き生きとした様子を見てもらおうと良い。生徒達を観れば学校の様子がわかる。 ●普通科と保健体育科の三年間の在り方、大学受験にどう向き合っているのかを明確に示せるとよいと思います。	A A A B B
●高校生の時期に部活動に賢明に取り組む姿は感動すら覚える。この経験はこれからの人生に大きな自信となる。 ●部活動を通じた学校生活が、充実感、達成感につながり、様々な経験をする事によって自己解決が人間に成長出来ると思います。 ●各部活動に専門的な指導者がいることの安心感がある。 ●全体的に充実していると思いますが、各部活動ごとに様々な要望があるのも事実。様々な意見(お願い)を顧問、学校に伝える機会がほしいと思います。 ●放課後選択授業との部活動の両立(連携)がまだ十分とは言えない。部活動一斉終了時間を徹底するなど方策を。 ●主に運動部における食育の奨励。	A A A B B B

○達成度 A: 充分達成 (100%) B: 概ね達成 (80%程度) C: 変化の兆し無し (50%前後) D: まだ不十分 (30%程度) E: 方策の見直し (20%未満)